

## 目指す姿（ビジョン）の実現に向けた施策の基本的方向

### ① チャレンジする人・企業が集まる滋賀

- 滋賀に住む人の「ライフスタイル」を発信し、滋賀の職住モデルをリデザイン (reDesign)
- 滋賀の地域や世界の社会的課題を解決する起業家・イノベーターを育成・確保
- AI・データサイエンス等、最先端テクノロジーを活用できる人材を育成・確保
- 異分野・異業種等、組織を超えた多様な主体による交流・連携を促進
- 若者・女性・障害者・高齢者・外国人など多様な人材の確保・定着
- 生産性の向上や高付加価値化等による力強い農林水産業の確立
- 「森・川・里・湖」の多面的価値を未来へ引き継ぐ地域づくり

### ② 実証実験のフィールド滋賀

- 新たなアイデアを社会実装に向けて試行する万博の「未来社会の実験場」の一翼を
- 企業や大学等のモデル的な取組や提案を受け入れ、地域との連携を促進
- 新たなビジネスモデルの構築に障壁となる規制の緩和や制度の改善

### ③ ビジネスで実践する「健康しが」

- 「健康」をテーマに、産業分野を超える新たなプロジェクトの検討
- 地域資源の活用を通じた循環型経済（サーキュラーエコノミー）と共生の取組を推進
- 人の健康に留まらず、自然の健康、社会の健康に向けたビジネスモデルづくり

### ④ 世界から選ばれる滋賀

- 水環境ビジネスをはじめ、世界の課題解決に貢献する海外展開を促進
- 国際感覚を養った人材の養成と確保、外国人材の受入と多文化共生の推進
- 海外からの投資（ESG投資、設備投資を含む）の促進

## 目指す姿（ビジョン）の実現に向けた産業振興の展開



社会的課題を解決していくには、刻々と変わる状況に柔軟に対応し、試行錯誤を繰り返すことが重要です。そのため、「PDCA」の考え方のみならず、成果を出すことに集中する「OODA」（ウーダ）の考え方を取り入れ、新たな価値を創出する産業振興の展開が図れないか検討します。

Observe（観察）、Orient（状況判断、方向づけ）、Decide（意思決定）、Act（行動）の頭文字をとったものです。



滋賀県のSDGs



この冊子は捨てられるはずだったお米からできた紙”kome-kami”で作られています。

# 滋賀県 産業振興ビジョン 2030



滋賀県 令和2年（2020年）3月

滋賀県産業振興ビジョン 2030 の詳細はこちらから

